

基本情報

時間割コード／Course Code 310119 (OSIPP) / 220479 (Law)

開講区分(開講学期)／Semester 春～夏 Spring, Summer

曜日・時間／Day and Period 水 6

開講科目名／Course Name (Japanese) リーダーシップを考える

開講科目名(英)／Course Name Taking Leadership Seriously: Learning from Doing

単位数／Credits 2

開講言語／Language 日本語

履修対象／Eligibility 全学部

講義室／Room 国際公共政策研究科 (OSIPP) 棟 2階 講義シアター

学習方法 聴講、視聴、読解、討論、協同、調査、体験・実践、発表

担当教員／Instructor 木原 康輔、西嶋 聡

授業の目的と概要／Course Objective

この授業では、学生と教員が社会と協働して授業を創造し運営する活動の中で、リーダーシップを体験しながら考え、学びます。

リーダーシップは、首相や社長などの地位から生じるものではありません。また、一部の選ばれた特別な人のためのものでもありません。リーダーシップの基本は、私たち一人一人が様々な問題を責任を持って解決しようとする行動にあります。リーダーシップの目的は、困難な問題を解決するために人びとに価値観や行動の変化（学習）を促すことです。

この授業では、前半でリーダーシップの理論を学んだ上で、後半ではそれを実践する場として受講生が主体となりプロジェクトの企画・運営に取り組みます。

授業の前半では、リーダーシップに関する代表的な理論の変遷を学び、受講生や講師とのディスカッションを通じて、リーダーシップとは何か、どのように発揮するのかという点について理解を深めます。またリーダーシップのあり方はその時代によって異なることを理解し、今がどのような時代なのか、どのような課題があるのかについて理解を深めます。

授業の後半では、受講生が企画したプロジェクトを実施します。プロジェクトの企画・立案の過程で失敗や成功を重ねることにより、自分らしいリーダーシップの発揮の仕方について体験的により深く学ぶことが期待できます。また、リーダーシップの重要要素である話し方やコミュニケーション力、プレゼンテーションスキル、そしてファシリテーションスキル等を養成することができます。

2024 リーダーシップを考える（大学院・大学）

<過去の受講者の感想>

- ・ この授業や参加者を通じてさまざまなことを学ぶことができました。その中で特に勉強となった点は積極性を持つことです。グループワークで積極的に意見を述べる、まとめる、発表することや提案を行う姿を見て、見習いたいと思いました。また、授業で学んだことで印象的であったのが、世の中のデザイナーであることを忘れずに社会的な問題を解決することでした。そして、自らの強みを把握し、より磨きをかけることの重要性です。（国際公共政策研究課 M1）

昨年度の授業日程表は以下の URL より閲覧できます。

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/leadership.html>

学習目標／Learning Goals

- ・ リーダーシップに関する代表的な理論の理解に留まらず、他の受講者や講師との対話を通じて新しい考えに触れ、また授業中にリーダーシップを発揮する機会を持つことで、授業の最終回には実践に耐えうる自分なりのリーダーシップ論を持つ。
- ・ 自分が主体的に意思を持って動けるようになる。
- ・ 人に動いてもらえるような伝え方や動き方ができるようになる。
- ・ チームや会議の中で話し合い、相手の意見を引き出して自分の意見をより良く変えていくことによって、合意形成ができるようになる。

授業形態／Type of Class

- ・ 授業時間は原則として水曜日の 18:30～20:00 です。スキル修得の練習とディスカッションを集中的に行うことにより学習効果を高めます。
- ・ 各回の授業の最後に「振り返りシート」を作成することにより、学んだことをきちんと振り返り、内省する習慣を身につけます。
- ・ 詳細な授業日程は、CLE、KOAN 等に掲示します。

特記事項／Special Note

【受講理由書】

- ・ シラバスをよく読んで、なぜこの授業を受講したいかを記載した「受講理由書」を C L E で提出してください。
- ・ 「受講理由書」は、A4 用紙 1 枚以内（Word 11 ポイント）で作成し、ヘッダーに提出日・氏名・学番・メールアドレスを記入してください。**提出期限は 4 月末日です。**
- ・ 履修登録をしていないと CLE にアクセスできないので、早めに履修登録をしてください（KOAN での履修登録した翌日に CLE にアクセスできるようになります）。

授業計画／Class Plan

2024 リーダーシップを考える (大学院・大学)

第1回：オリエンテーション

【内容】講義の概要説明・リーダーシップの「常識」を再整理する。

第2回：リーダーシップとは？ (1)

【内容】リーダーシップについて学ぶ意義を押さえる。

第3回：リーダーシップとは？ (2)

【内容】リーダーシップをテーマとした受講同士のディスカッションを通じて、リーダーシップに関する理解を深める。

第4回：リーダーシップとは？ (3)

【内容】「カルトの手法」とリーダーシップを比較することで、リーダーシップの理解を深める。

第5回：新しいリーダーシップの在り方(1)

【内容】リーダーシップ理論の変遷を押さえた上で、「リーダーシップとは何か」について参加者同士の対話を通して考える。

第6回：新しいリーダーシップの在り方(2)

【内容】ゲスト講師をお呼びして

第7回：新しいリーダーシップの在り方(3)

【内容】ゲスト講師をお呼びして

第8回：リーダーシップとは？ (4)

【内容】これまでの学びを振り返り、「リーダーシップとは何か」について受講者間の対話を通して再考する。

第9回：第13回授業の企画・運営について検討する (1)

【内容】第2～7回授業で習得したスキルや概念を活用しながら、第13回授業の開催に向けて必要な事項を議論し、今後の行動計画を立てる。

第10回：第13回授業の企画・運営について検討する (2)

【内容】第2～7回授業で習得したスキルや概念を活用しながら、第13回授業の開催に向けて必要な事項を議論し、今後の行動計画を立てる。

第11回：第13回授業の企画・運営について検討する (3)

【内容】第2～7回授業で習得したスキルや概念を活用しながら、第13回授業の開催に向けて必要な事項を議論し、今後の行動計画を立てる。

第12回：第13回授業の企画・運営について検討する (4)

【内容】第2～7回授業で習得したスキルや概念を活用しながら、第13回授業の開催に向けて必要な事項を議論し、今後の行動計画を立てる。

第13回：受講生が創る授業

【内容】受講生が自ら企画した授業を実施し、第7回授業までに学んだ理論を実践する。

第14回：第13回授業の振り返り

【内容】第13回授業を振り返り、第7回授業までに習得した理論やスキル、及び参加者間の対話を通して考えたリーダーシップに照らして、各自が適切な行動をとっていたかを内省、対話する。

第15回：授業全体の振り返り

2024 リーダーシップを考える (大学院・大学)

【内容】授業全体を振り返り、第7回授業までに習得した理論やスキル、及び参加者間の対話を通して考えたリーダーシップに照らして、各自が適切な行動をとっていたかどうか、今後どう活かしていくべきかを内省、対話する。

授業外における学習／Independent Study Outside of Class

- この授業はグローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) の一部です。リーダーシップを総合的かつ実践的に身につけるためには2学期木曜日4限の「経営者と学ぶリーダーシップ」も受講すると効果的です。「経営者と学ぶリーダーシップ」は学部向けに開講されており、内容はゲストによるプレゼンテーションと質疑応答が中心です。聴講を希望する場合は、グローバルリーダーシップ・プログラム事務局 glp@osipp.osaka-u.ac.jp に申し込んでください。

教科書・教材／Textbooks

- 第1回授業で、「GLP (Global Leadership Program) 共通テキスト」を配布します。

参考文献／Reference

実践だけでは良いリーダーシップは身につけません。次の参考文献を自分の実践と照らし合わせながら授業に取り組むとより効果的です。

- 『リーダーシップ・チャレンジ[原書第五版]』、ジエームズ・M・クーゼズ、バリー・Z・ポズナー (著)、関美和 (訳)、海と月社、2014年<原著: James M. Kouzes, Barry Z. Posner, "The Leadership Challenge", Jossey-Bass, 2012>
- 『リーダーシップとは何か!』ロナルド・A・ハイフェッツ/ 幸田チャーミン 訳 (産能大学出版部, 1996.) 阪大図書館所蔵(Leadership Without Easy Answers, 1994)
- 『リーダーシップは教えられる』、シャロン・ダロツ・パークス (著) / 中瀬英樹 (訳)、武田ランダムハウス ジャパン、2007年<原著: Sharon Daloz Parks, "Leadership Can Be Taught", Harvard Business Review Press, 2005.>
- 『リーダーシップの旅』、野田智義・金井寿宏 (著)、光文社、2007年

成績評価／Grading Policy

- 提出シート (振り返りシート、自己・相互評価シート) 45%
- レポート類 (受講理由書、学期末レポート) 25%
- 平常点 (授業への貢献度、他者への影響度) 30%

受講生へのメッセージ／Messages to Prospective Students

リーダーシップは、リーダーや一部の選ばれた特別な人のためのものではなく、全ての人の日常生活の身近にあるものです。リーダーシップを学び、身につけることによって、より充実した学生生活を送るとともに、自らのキャリアデザイン (就職、進学、留学、起業等) にも活かしましょう。

コメント

障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、教務係に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。